



広報

ふじおか

2020  
11.1

No.1238

## さまざまな交流を生み出す橋が開通

～県道寺尾藤岡線バイパス 新鎚川橋～

県道寺尾藤岡線は、長年にわたり鮎川橋や鎚川橋周辺の交通渋滞の解消が課題でした。市は寺尾藤岡線バイパス事業を平成6年から県に対して要望してきました。今回開通した一部区間は、市道中上大塚線から高崎市道南八幡小学校通りまでの区間約1.5kmです。

この新鎚川橋（橋長431m）は、周辺の交通渋滞を解消するとともに、物・人・文化などの新たな交流を生み出し、市の産業や観光をさらに飛躍させる大きな役割を果たします。市では寺尾藤岡線バイパスの早期全線開通に向けて、引き続き県に対して働き掛けていきます。



揮毫：藤岡市長